

平成26年度決算における財政健全化比率について

平成19年度から、公表が義務づけられました「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」により本村の財政健全化比率を公表します。

下條村の平成26年度決算に基づく「健全化判断比率」「資金不足比率」等は以下とおりで、一般会計、特別会計共に黒字となり、全国的にもトップクラスの財政運営が行われています。(単位:%)

Table with 5 columns: 区分, 実質赤字比率, 連結実質赤字比率, 実質公債費比率, 将来負担比率, 資金不足比率. Values for 平成26年度決算健全化判断比率 are: -, -, ▲6.4, -, -.

※実質赤字、連結実質赤字は赤字でないため「-」で表示しています。
※将来負担比率は、借入金や将来負担する実質的な負債がないため「-」で表示しています。
※資金不足比率は、公営企業(水道特別会計など)の資金の不足を示すもので黒字のため「-」で表示しています。

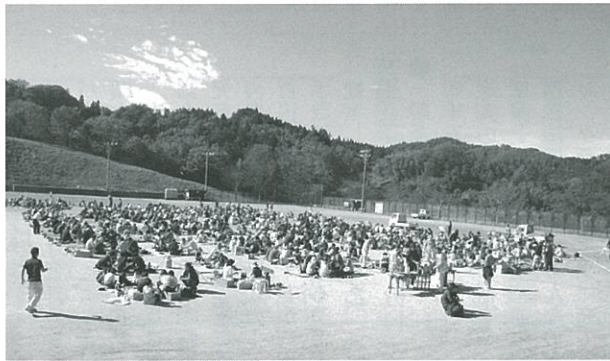
特別会計の決算

Table with 3 columns: 会計区分, 歳入(対前年比), 歳出(対前年比). Rows include 国民健康保険, 後期高齢, 介護保険, 村営水道, and 計.

主な村づくり事業

【村制125周年記念事業】

昨年125周年の節目を迎え、10月には村民交流焼肉大会、2月には開運!なんでも鑑定団の収録、村制125周年のあゆみ作成など様々な行事が行われました。



【防災行政無線移動系システム整備事業 1億5,638万円】

本年度、緊急防災・減災事業債(1億5,600万円)を活用し、防災行政無線移動系システム(統制局・基地局、足畑中継局、半固定型 3局、車載携帯型 10局、携帯型 10局)の整備を実施しました。



【環境にやさしい公共施設等整備事業 1億1,068万円】

昨年度、がんばる地域交付金(9,000万円)と地域活性化事業債(1,800万円)を活用し、いきいきらんど下條へ50kwの太陽光発電設備を設置しました。



【資材支給事業 697万円】
昨年度も47箇所で開催され、村内各地の道路、水路などの整備ができ、より住みよい村づくりが進みました。

村民ひとり当りの納税額 84,276円(法人除く) 主な内訳

Table with 4 columns: 村民税, 固定資産税, 軽自動車税, たばこ税. Values: 32,682円, 19,441円, 3,055円, 4,757円.

平成26年度決算のあらまし

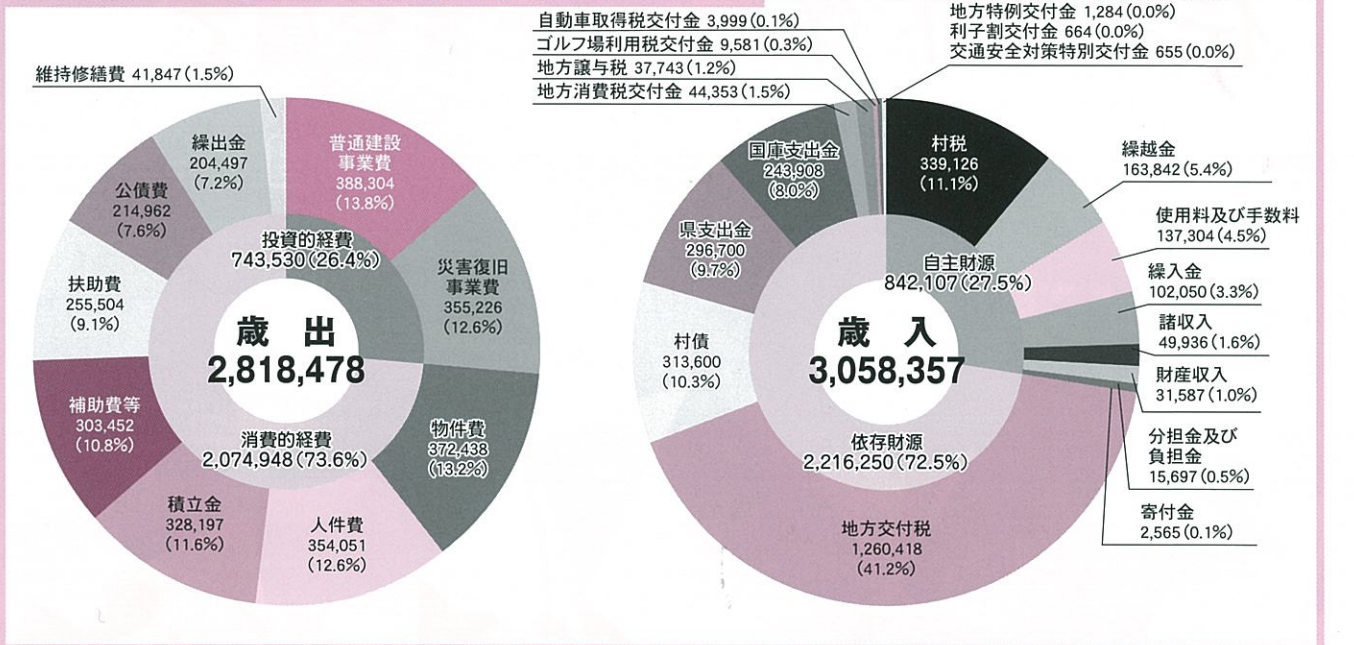
◆◆◆ 26年度も健全な財政運営に努めました ◆◆◆

平成26年度一般会計をはじめとする各会計の歳入歳出決算が9月の定例議会で認定されました。一般会計では歳入30億5,835万円が、歳出が28億1,847万円を差し引いた形式収支は2億3,987万円の黒字となりました。また翌年度に繰り越すべき財源1,539万円を控除した実質収支2億2,448万円のうち2千万を財政調整基金へ積立し、2億448万円を翌年度へ繰り越しました。

また、財政の健全度を示す指標として平成19年度から公表が義務付けられた「実質公債費比率」は、昨年数値より更に1.0ポイント下がり、▲6.4%と前年度同様、平成26年度もマイナスとなり県下1位、全国でも1位(1,741市区町村で)となりました。

※1 自治体の財政健全化具合を示す指標で、公営企業会計も含む、一般財源に占める借入れ返済額の割合を示すもので、数値が高くなるほど財政を圧迫しています。

平成26年度歳入歳出決算状況 (単位:千円)



村民ひとり当りに使われたお金 700,416円 (目的別歳出)

Grid of 12 categories of spending per resident: 議会費 8,371円 (1.2%), 農林水産業費 18,917円 (2.7%), 教育費 49,672円 (7.1%), 総務費 190,423円 (27.2%), 商工費 17,343円 (2.5%), 災害復旧費 88,277円 (12.6%), 民生費 182,805円 (26.1%), 土木費 23,866円 (3.4%), 公債費 53,420円 (7.6%), 衛生費 43,197円 (6.2%), 消防費 24,125円 (3.4%), 人口 4,024人 H26.4.1現在.